

[第653回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和5年1月19日(木) 午後1時00分～2時00分

2. 開催場所 アートホテル大阪ベイタワー スカイバンケット

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
上林 寛和 徳永 潔
たつみ 都志(書面)
鎌田 雅子(書面)

放送事業者側出席者の氏名

上野 慶子 赤松 加枝子
和田 麻実子

4. 議題

1) 番組審議 『あなたとわたしの絵本の世界』

2) その他

5. 議 事 の 概 要

議題1) 『あなたとわたしの絵本の世界』について、番組の企画意図と内容を説明し、番組を聴取した後、意見を聞いた。

『あなたとわたしの絵本の世界』ラジオで楽しむ「絵本」の世界。絵本を朗読でお届けする15分間の番組で、土曜の朝にお送りしています。すべての世代が想像力を養う事ができる絵本は、親子のコミュニケーションのツールとして、また大人にとっては右脳の活性化するツールとしてたくさんの人に愛されています。「あなたと私の絵本の世界」は、朗読音声を持つ世界観を多くの人に感じてほしいという想いで制作しております。朗読を通して、これまで以上に絵本の魅力を知って頂く機会になれば幸いです。朗読を担当するのは、劇団・関西芸術座の劇団員。進行は、和田麻実子アナウンサーです。今回ご審議いただく内容は2022年9月24日と10月22日放送分です。

<各委員のご意見>

◆朗読される方の演技力が素晴らしかったのとラジオドラマ風に凝った効果音なども入っていたのでイメージしやすかったのだと思う。これはなかなか工夫されているな、と感心した。絵だけの絵本も、素敵な解説で紹介してもらえたらと思う。

◆いい番組だった。朗読の声に思わず聞き入ってしまい、状況を想像して、実際に絵本を見てみたくなる。また孫に買ってやりたくなるので、どんなコマーシャルよりも効果的ではないか。

◆まず初めに、自分が子どもの頃に読んでいた絵本と現在の絵本では、内容が変化していると感じた。自分の子どものころの絵本では「この世の中で何が大切か」ということを、メタファーを用いて子供に伝えるようなものだったが、今回の絵本では「おじいちゃん」「幽霊」など題材が身近で、子どもの無邪気さをストレートに表現されているなあと感じた。番組のターゲットが曖昧な感じがしたので、ターゲットを絞った構成にしてもいいのではないか。

◆絵本を取り扱うにあたり、音声だけでは伝わり辛い部分もあると思う。ただ、そのハンデを読み手の方が工夫されていたし、効果音もいい具合に使われていた。扱う絵本によっても伝わりやすさは変わってくると思う。

◆絵本作家の想いやエピソードを1つでもいいので紹介して欲しいと思った。

◆絵本をあえてラジオでやるという試みが面白い。今回の絵本を聞いた限りでは、対象は低学年位かなと思って聞いた。取り扱う絵本によっては対象年齢より下の子どもたちには伝わらない部分も出て、親や祖父母が解説してあげないといけない場面もあると思う。ただ、元の絵本の文章を大事にされているという事で、それはとても大事な事。また、聴いているとどうしても絵が見たくなった。読み聞かせだけではなく、絵本を選ぶ際のガイドとしての側面もある。画期的な番組だと思う。

以上